



みずほ

第 9 号

平成17年8月1日

発行
岐阜県瑞穂市議会

編集
瑞穂市議会広報編集委員会

市議会だより



▲みずあそび、たのしいな（＝牛牧第1保育園）

平成17年第2回
瑞穂市議会
定例会

堀越紡績所有の土地取得関連2議案撤回 2p

- 新委員会構成が決まる 4p
- 一般質問 ～市政を問う～（12人） 6p
- 教育委員の任命同意・意見書 5p
- 議員紹介 12p

平成17年第2回瑞穂市議会定例会が、6月1日から9日間の会期で開会した。本定例会には、市長から提出された議案12件のほか、議員が提出した意見書2件などを審議した。

前回の定例会（平成17年第1回定例会）から継続審査となっていた堀越紡績(株)が所有する土地の取得関連2議案は撤回され、任期満了となっていた常任委員、議会運営委員を選任したほか、その他の議案はすべて可決し、6月9日に閉会した。

総務常任委員会

助役の辞職勧告決議

可決

定例会最終日の6月9日、堀孝正議員から「助役の辞職勧告決議」が提出され、賛成多数で可決した。なお、助役の辞職勧告決議に法的な強制力や拘束力はなく、議会の意思を表明するものである。

助役の辞職勧告決議(要旨)

本議会は、助役福野寿英君に対して、辞職勧告を議決する。

(理由)

2議案が撤回に及んだことは、瑞穂市政に大きな汚点を残し、市民に対する信頼を大きく失うこととなった。その責任は、経緯経過を見ると事務監督責任者である助役福野寿英君、本人がその責務を怠ったことにより招いた結果であり、重大な過失、失態である。よって、本議会において辞職勧告するものである。

こうしたなか、6月定例会が終了するまでに結論を出すとしていた総務常任委員会は、堀越紡績(株)の社長らから聴き取り調査をしたり、最新式の給食センター施設を現地視察したり、防災ヘリコプターで地形や位置関係を上空から確認するなど、机上の議論だけでなく、約2か月にわたる審査を重ねた。

結論を出すには至らなかったが、次のような意見があった。

① 土地購入の目的がはっきりしていない段階での先行取得である。利用目的や活用方法を明らかにしてから購入すべきである。

② 例として挙げられた給食センターの統合施設やハリヨ公園は、必要と認められ

撤回承認

5月26日に市長から提出された2議案の撤回請求は、定例会初日の6月1日、総務常任委員会の中間報告があった後に議題となり、賛成多数で撤回が承認された。

堀越紡績所有の土地取得関連2議案 撤回

定例会開会前の5月26日、

得する予算案であった。

堀越紡績(株)が所有する土地の取得関連議案を撤回する請求が市長よりあった。撤回請求があったのは、「議案第9号瑞穂市土地取得事業特別会計条例の制定について」と、「議案第36号平成17年度瑞穂市土地取得事業特別会計予算」の2議案で、前回の3月議会に市長が提出し、総務常任委員会で継続して審査していた。

この2議案は、市の公共的施設を統合整備するにあたり、必要な土地を先行取得し、事業を円滑に進める目的で土地取得事業特別会計を設置する条例案と、堀越紡績(株)が所有する約3万8千㎡の土地を12億円で取

得する予算案であった。

「堀越紡績(株)から土地の購入を打診された。まとまった土地なので、先に購入したい。どのような施設をどの程度に整備するかは、購入後に議会や市民の皆さんと構想を描きたい。例を挙げれば、給食センターの統合施設やハリヨ公園だが、公共的用地として構想が描けないなら、企業を誘致することも考えられる。」と説明されていた。

また、3月定例会閉会前日の3月24日、給食センターが建設されると臭気や水質汚濁が心配なので建設に反対するという要望書が地元住民から提出された。

規模を縮小して

土地開発公社で購入

土地取得事業特別会計による2議案の撤回が承認されたことにより、6月7日、「議案第49号瑞穂市一般会計補正予算(第1号)」が市長から追加提案された。

堀が所有する土地の一部(約1万1千㎡)を、土地開発公社を通じて購入するとされた。

追加提案では、堀越紡績

議案の内容は、次のとおりである。

(財)土地開発公社は今年度中に土地を購入し、購入にかかる諸費用や市に売却するまでの金利などを負担する。これに要する費用の上限として、今回4億円を追加補正し、限度額を10億

7500万円とする。また、公社は財源を持っていないので、費用は金融機関からの借入金に頼ることになるが、財産のない公社に金融機関は貸付けをしてくれないので、市が借入金の債務保証をしている。用地取得費の合計金額が10億円を超えたので、これまで10億円だった債務保証の限度額を12億円に増額する。

市は給食センターなど施設の詳細を設計し、平成20年度までに金利や諸費用を上乗せした価格で用地を公社から買い取る。この用地取得費に施設の建設費用などを含めて、合併特例債など有利な条件で財源を確保したいとしている。

この議案に対する主な質疑・答弁は次のとおりである。

Q この土地を取得する目的は。
A 給食センターの統合施設建設とハリヨ池の保存である。

Q 約1万1千㎡を取得するとした根拠は。
A 3月定例会の時と状況が変わり、現在では、これ

が市の取得できる最大面積となった。

Q 給食センターとハリヨ公園の面積配分は。
A 給食センター部分として最低でも7千㎡、できれば1万㎡は使いたい。取得面積が少なくなったことにより、公園として当初に想定した規模での設置は難しくなった。ハリヨ池は残すが、給食センター用地の一部に緑地として保存する程度になると思う。

Q 統合給食センターの事業計画は。
A 教育委員会としては、1日あたり7千食の調理能力を持つ施設を平成19年から20年に完成させたい。

Q この土地の購入単価は。
A 鑑定評価や隣地の取引事例から1坪あたり10万3千円を見込んでいます。

Q もっと安く取得できる土地や他の適地はないか。
A 各学校への配食があるので、時間的にも距離的にもこの場所は適している。また、農業振興地域なら安く取得できるかもしれない

Q 3月定例会に提出された議案では利用目的が定まっていない状態で、給食センターは、あくまで一つの例であった。今回追加提案された議案では給食センターの統合施設を整備すると明言されている。そこで、地元住民から建設反対の要望に対して、納得してもらえる説明をすることも可能になったし、するべきだと思うが、この対応は。
A 設備計画が決まらないうと説明ができない。懸念されている事項について、解決できる具体的な手法が決まったら、納得してもらえただけのデータや実績を示して説明したい。要望やご意見を充分配慮して進めたい。



▲中央が堀越紡績(株)の所有する土地
(=岐阜県防災ヘリコプターで東上空から撮影)

新委員会構成が決まる

本定例会の開会日、6月1日に常任委員、議会議事運営委員を選任した。瑞穂市議会委員会条例では、「常任（議会運営）委員の任期は1年とする。ただし、後任者が選任されるまで在任する。」と規定されており、5月11日に1年を経過したため、新しい委員を選任したものである。選任後、直ちに各委員会が開催され、委員長と副委員長が互選された。

なお、特別委員会の委員については任期の規定がないので、各委員会の調査が終了するまで、引き続き在任することとなる。

この特別委員会は、市が保有する土地財産の管理状況を調査する目的で設置され、調査が終了するまで活動することとなった。これにより、瑞穂市議会に設置された特別委員会は、合計で7委員会となった。（下表参照）

正副議長の不信任案

【可決】

土屋勝義議長と星川睦枝副議長の不信任動議が提出され、いずれも賛成多数で可決された。なお、この動議に法的拘束力はなく、両者から辞意は表明されなかった。

党派結成

本定例会の開会前、二つの党派から議長に結成届が提出された。

新党派
代表 棚瀬悦宏（5名）
星川睦枝
藤橋礼治
小川勝範
届出日 17年5月23日

日本共産党瑞穂市議員団
代表 小寺 徹（1名）
届出日 17年5月27日

党派とは、複数または個人の議員が市政に関する調査研究を行うことを目的に結成されるものである。これにより、瑞穂市議会の党派は合計で3党派となり、党派に所属する議員数は、20人のうち12人で過半数を超えることとなった。

	山田 隆義	西岡 一成	澤井 幸一	土屋 勝義	棚瀬 悦宏	星川 睦枝	広瀬 捨男	山本 訓男	藤橋 礼治	小寺 徹	小川 勝範	桜木 ゆづ子	堀 孝正	浅野 櫻雄	松野 藤四郎	熊谷 祐子	広瀬 時男	若園 五朗	篠田 徹	安藤 由庸	
議長				●																	
副議長						◆															
常任委員会																					
議会運営委員会																					
特別委員会																					
議会改革検討委員会																					
下水道整備促進委員会																					
まちづくり都市計画委員会																					
公共交通対策委員会																					
地域防災対策委員会																					
行財政改革委員会																					
土地財産調査委員会																					
議会広報編集委員会																					

土地財産調査特別委員会を設置

本定例会の最終日、6月9日に「土地財産調査特別委員会設置に関する決議」が篠田徹議員から提出され、全会一致で可決された。



教育委員の任命同意

瑞穂市教育委員の高原猛氏が7月4日に任期満了を迎えるので、後任の委員を任命するにあたり議会の同意を求める議案が、定例会開会日の6月1日に提出された。議会では、同日、全会一致で同意した。

関谷均 別府1053番地
(敬称略)

意見書可決

定例会最終日の6月9日、次の意見書も全会一致で可決し、関係機関に送付した。



地方六団体改革案の早期実現に関する意見書 (要旨)

政府においては、平成5年の衆参両院による地方分権推進に関する全会一致の国会決議をはじめ、地方分権一括法の施行といった国民の意思を改めて確認し、真の「三位一体の改革」の実現を図るため、残された課題等について地方六団体の提案を十分踏まえ、改革案の早期実現を強く求める。

- ①地方六団体の改革案を踏まえた概ね3兆円規模の税源移譲を確実に実現すること。
- ②生活保護費負担金及び義務教育費国庫負担金等の個別事項の最終的な取扱いは、「国と地方の協議の場」において協議・決定するとともに、国庫負担率の引下げは絶対認められないこと。
- ③政府の改革案は、地方六団体の改革案の一部しか実現されておらず、地方六団体の改革案を優先して実施すること。
- ④地方六団体の改革案で示した平成19年度から21年度までの第2期改革案について政府の方針を早期に明示すること。
- ⑤地方交付税制度については、「基本方針2004」及び「政府・与党合意」に基づき、地方公共団体の財政運営に支障が生じないよう、法定率分の引上げを含み地方交付税総額を確実に確保するとともに、財源保障機能、財源調整機能を充実強化すること。

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 郵政民営化・経済財政政策担当大臣 総務大臣
財務大臣 経済財政諮問会議

地方議会制度の充実強化に関する意見書 (要旨)

今日、三位一体の改革などが進められる中で、税財政面での自己決定権が強まれば、それに伴い議会の執行機関に対する監視機能を強化し、自ら住民のための政策を発信していかなければならないのは必然である。このような中、二元代表制の下での地方議会の役割は一層その重要性を増していることから、住民自治の代表機関である議会の機能の更なる充実と、その活性化を図ることが強く求められている。一方、各議会においては、自らの議会改革等を積極的に行っているところであるが、これらの環境に対応した議会の機能を十分発揮するためには、解決すべき様々な制度的課題がある。

こうした課題は、現行の地方自治法が制定後60年経過し、「議会と首長との関係」等にかかわる状況が変化しているにもかかわらず、ほとんど見直されておらず、議会にかかる制度が実態にそぐわなくなっていることから、議会制度全般にわたる見直しが必要である。21世紀における地方自治制度を考えると、住民自治の合議体である「議会」が自主性・自律性を発揮してはじめて「地方自治の本旨」は実現するものであり、時代の趨勢に対応した議会改革なくして地方分権改革は完結しないと考える。

よって国におかれては、現在、第28次地方制度調査会において「議会のあり方」を審議項目として取上げ、活発な審議が行われているところであるが、地方議会制度の規制緩和・弾力化はもとより、①議長に議会招集権を付与すること、②委員会にも議案提出権を認めること、③議会に附属機関の設置を可能とすることなど、地方議会の権能強化及びその活性化のため、抜本的な制度改革が図られるよう強く求める。（提出先）

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣

南ふれあい広場西の 土地利用は

市長 広場の拡張で整備したい

Q 東南の古橋南地区にある元町民プールの跡地と、南ふれあい広場の西にある土地の利用計画は。

A 市長 南ふれあい広場は、公園用地として手狭であると思うので、広場西の土地は公園整備で拡張したいと思っています。また、プールの跡地は、地域の皆さんが有効に使っていただく方法をもう少し慎重に検討したい。

信号機の設置計画について

Q 北方警察署管内の交通事故発生場所ワースト10のうち、瑞穂市内が8件を占める。信号機の設置要望も多いと思うが、設置の基準や計画はどうなっているか。

A 総務部長 今年度は6カ所の設置要望をしている。しかし、信号機を設置するのは県公安委員会で、例年北方警察署管内で設置されるのは2〜3カ所である。



拡張整備が検討される南ふれあい広場



若園五朗議員

どこに設置されるかは、県公安委員会で検討される。

その他の質問

・職員給与の是正について
・掘越用地取得に伴う助役と掘越社長との経緯について

穂積駅南の道路整備は

都市整備監 7月にも着工予定、3年計画で整備する

Q JR穂積駅から、みずほバスターミナルまでは歩道幅が狭く、雨降りには傘を差してすれちがい通行することが困難な状況である。また、横断歩道もなく、安全確保が充分でない。今後の整備計画は。

A 都市整備調整監 この区間は県により再整備されることになった。具体的には、駅前から南に市道とのT字交差点まで約480mの両側歩道の段差を解消する。植樹帯の縮小や撤去をし、歩道幅を広げ、安全で



歩道幅が狭い駅南道路



篠田 徹議員

快適な歩行者空間を確保する。歩道の照明灯や排水溝を設置するとともに車道の舗装をする工事である。市が策定した駅周辺の交通バリアフリー基本構想とも整合する事業であり、7月中にも着工できるようお願いしている。

学校焼却炉の撤去を

Q 平成9年10月、文部省（当時）から学校施設におけるごみ焼却炉を全廃するよう通達があった。かなり前の年数が経過したが、焼却炉はいまだ放置され、老朽化している。ダイオキシン

による汚染が心配され、早急な撤去が必要だ。今後の計画は。

A 教育長 現在焼却炉は使用していないが、市内の幼稚園、小中学校で12基が残っている。使用しなくなった時点で灰などは撤去してあるが、焼却炉を解体するには専門的な調査と多額

その他の質問

・瑞穂市の面整備は指定管理者制度について

敬老会の助成金は

市民部長 対象者に350円、出席者には千円を上乗せ

Q 75歳以上が対象の敬老会を自治会などが開催した場合に助成する金額は、昨年度が出席者のみ一人当たり800円であった。今年度は、3月定例会で予算を1千万円に増額修正し、対象者一人当たり3千円を助成できるようにした。その後の経過は。

A 市民部長 敬老会を開催された自治会長や参加者の方々からのご意見も充分お聞きして検討した。結果として、75歳以上の対象者は350円を限度に、敬老会の参加者は千円を追加している。



松野藤四郎議員

て助成する。敬老会をお世話したため経費は、昨年の倍額にした。このことは、4月21日に開催された自治会連合会の総会で説明し、ご理解いただけたと思っている。

給食センター統合のメリットは

教育長 食の安全確保や作業の効率化など

Q 給食センターを統合した場合のメリットとデメリットは。

A 教育長 穂積調理場は（床をぬらして使用する）ウエット方式であるが、安全のためにも（菌が繁殖しない）とされる乾いた床のドライ方式に変更が求められている。東南調理場も建設から11年を経過し、改修の時期がきており、両方を改善でき、食の安全を確保できるメリットがある。また、2カ所で行っている業務を統合すれば、作業を効率化することができる。運

営方法を工夫すれば、人件費や維持管理費の削減も可能である。設備を工夫すれば、複数の献立、例えば小学校と中学校で違う献立も可能になる。

デメリットとしては、6千数百食を作ることになるので、質が落ちるのではないかと、配送距離が長くなるのではないかと懸念だと思ふ。しかし、献立はこれからも学校栄養職員が管理し、7千食を賄える設備も整備する予定である。また、配送距離も市の中央付近に統合すれば、すべての学校が2・5km以内



▲ウエット方式の穂積給食センター調理場

農業の将来について

Q 農業の10年、15年先を考えた計画はあるか。

A 都市整備部長 市の農業計画では、次のような目標を持っている。
①農業基盤の整備を初め、

農地保全とこれを支える担い手の育成を図る。
②売れる米づくり、米以外の作物による産地づくりによる農業振興を図る。

③農地の利用集積・規模拡大を図り、認定農業者、農業法人や集落営農組合等組織の育成を図る。
④安全・安心な農産物づく

りとブランド化で、地産地消の推進を図る。

その他の質問

・FM放送施設について
・工業団地への上下水道について

穂積駅南の道路整備は

都市整備監 7月にも着工予定、3年計画で整備する

Q JR穂積駅から、みずほバスターミナルまでは歩道幅が狭く、雨降りには傘を差してすれちがい通行することが困難な状況である。また、横断歩道もなく、安全確保が充分でない。今後の整備計画は。

A 都市整備調整監 この区間は県により再整備されることになった。具体的には、駅前から南に市道とのT字交差点まで約480mの両側歩道の段差を解消する。植樹帯の縮小や撤去をし、歩道幅を広げ、安全で

学校焼却炉の撤去を

Q 平成9年10月、文部省（当時）から学校施設におけるごみ焼却炉を全廃するよう通達があった。かなり前の年数が経過したが、焼却炉はいまだ放置され、老朽化している。ダイオキシン

による汚染が心配され、早急な撤去が必要だ。今後の計画は。

A 教育長 現在焼却炉は使用していないが、市内の幼稚園、小中学校で12基が残っている。使用しなくなった時点で灰などは撤去してあるが、焼却炉を解体するには専門的な調査と多額

その他の質問

・瑞穂市の面整備は指定管理者制度について

敬老会の助成金は

市民部長 対象者に350円、出席者には千円を上乗せ

Q 75歳以上が対象の敬老会を自治会などが開催した場合に助成する金額は、昨年度が出席者のみ一人当たり800円であった。今年度は、3月定例会で予算を1千万円に増額修正し、対象者一人当たり3千円を助成できるようにした。その後の経過は。

A 市民部長 敬老会を開催された自治会長や参加者の方々からのご意見も充分お聞きして検討した。結果として、75歳以上の対象者は350円を限度に、敬老会の参加者は千円を追加している。



松野藤四郎議員

て助成する。敬老会をお世話したため経費は、昨年の倍額にした。このことは、4月21日に開催された自治会連合会の総会で説明し、ご理解いただけたと思っている。

農業の将来について

Q 農業の10年、15年先を考えた計画はあるか。

A 都市整備部長 市の農業計画では、次のような目標を持っている。
①農業基盤の整備を初め、

農地保全とこれを支える担い手の育成を図る。
②売れる米づくり、米以外の作物による産地づくりによる農業振興を図る。

③農地の利用集積・規模拡大を図り、認定農業者、農業法人や集落営農組合等組織の育成を図る。
④安全・安心な農産物づく

りとブランド化で、地産地消の推進を図る。

その他の質問

・FM放送施設について
・工業団地への上下水道について

穂積駅南の道路整備は

都市整備監 7月にも着工予定、3年計画で整備する

Q JR穂積駅から、みずほバスターミナルまでは歩道幅が狭く、雨降りには傘を差してすれちがい通行することが困難な状況である。また、横断歩道もなく、安全確保が充分でない。今後の整備計画は。

A 都市整備調整監 この区間は県により再整備されることになった。具体的には、駅前から南に市道とのT字交差点まで約480mの両側歩道の段差を解消する。植樹帯の縮小や撤去をし、歩道幅を広げ、安全で

学校焼却炉の撤去を

Q 平成9年10月、文部省（当時）から学校施設におけるごみ焼却炉を全廃するよう通達があった。かなり前の年数が経過したが、焼却炉はいまだ放置され、老朽化している。ダイオキシン

による汚染が心配され、早急な撤去が必要だ。今後の計画は。

A 教育長 現在焼却炉は使用していないが、市内の幼稚園、小中学校で12基が残っている。使用しなくなった時点で灰などは撤去してあるが、焼却炉を解体するには専門的な調査と多額

その他の質問

・瑞穂市の面整備は指定管理者制度について

敬老会の助成金は

市民部長 対象者に350円、出席者には千円を上乗せ

Q 75歳以上が対象の敬老会を自治会などが開催した場合に助成する金額は、昨年度が出席者のみ一人当たり800円であった。今年度は、3月定例会で予算を1千万円に増額修正し、対象者一人当たり3千円を助成できるようにした。その後の経過は。

A 市民部長 敬老会を開催された自治会長や参加者の方々からのご意見も充分お聞きして検討した。結果として、75歳以上の対象者は350円を限度に、敬老会の参加者は千円を追加している。



松野藤四郎議員

て助成する。敬老会をお世話したため経費は、昨年の倍額にした。このことは、4月21日に開催された自治会連合会の総会で説明し、ご理解いただけたと思っている。

農業の将来について

Q 農業の10年、15年先を考えた計画はあるか。

A 都市整備部長 市の農業計画では、次のような目標を持っている。
①農業基盤の整備を初め、

農地保全とこれを支える担い手の育成を図る。
②売れる米づくり、米以外の作物による産地づくりによる農業振興を図る。

③農地の利用集積・規模拡大を図り、認定農業者、農業法人や集落営農組合等組織の育成を図る。
④安全・安心な農産物づく

りとブランド化で、地産地消の推進を図る。

その他の質問

・FM放送施設について
・工業団地への上下水道について

穂積駅南の道路整備は

都市整備監 7月にも着工予定、3年計画で整備する

Q JR穂積駅から、みずほバスターミナルまでは歩道幅が狭く、雨降りには傘を差してすれちがい通行することが困難な状況である。また、横断歩道もなく、安全確保が充分でない。今後の整備計画は。

A 都市整備調整監 この区間は県により再整備されることになった。具体的には、駅前から南に市道とのT字交差点まで約480mの両側歩道の段差を解消する。植樹帯の縮小や撤去をし、歩道幅を広げ、安全で

学校焼却炉の撤去を

Q 平成9年10月、文部省（当時）から学校施設におけるごみ焼却炉を全廃するよう通達があった。かなり前の年数が経過したが、焼却炉はいまだ放置され、老朽化している。ダイオキシン

による汚染が心配され、早急な撤去が必要だ。今後の計画は。

A 教育長 現在焼却炉は使用していないが、市内の幼稚園、小中学校で12基が残っている。使用しなくなった時点で灰などは撤去してあるが、焼却炉を解体するには専門的な調査と多額

その他の質問

・瑞穂市の面整備は指定管理者制度について

敬老会の助成金は

市民部長 対象者に350円、出席者には千円を上乗せ

Q 75歳以上が対象の敬老会を自治会などが開催した場合に助成する金額は、昨年度が出席者のみ一人当たり800円であった。今年度は、3月定例会で予算を1千万円に増額修正し、対象者一人当たり3千円を助成できるようにした。その後の経過は。

A 市民部長 敬老会を開催された自治会長や参加者の方々からのご意見も充分お聞きして検討した。結果として、75歳以上の対象者は350円を限度に、敬老会の参加者は千円を追加している。



松野藤四郎議員

て助成する。敬老会をお世話したため経費は、昨年の倍額にした。このことは、4月21日に開催された自治会連合会の総会で説明し、ご理解いただけたと思っている。

農業の将来について

Q 農業の10年、15年先を考えた計画はあるか。

A 都市整備部長 市の農業計画では、次のような目標を持っている。
①農業基盤の整備を初め、

農地保全とこれを支える担い手の育成を図る。
②売れる米づくり、米以外の作物による産地づくりによる農業振興を図る。

③農地の利用集積・規模拡大を図り、認定農業者、農業法人や集落営農組合等組織の育成を図る。
④安全・安心な農産物づく

りとブランド化で、地産地消の推進を図る。

その他の質問

・FM放送施設について
・工業団地への上下水道について

穂積駅南の道路整備は

都市整備監 7月にも着工予定、3年計画で整備する

Q JR穂積駅から、みずほバスターミナルまでは歩道幅が狭く、雨降りには傘を差してすれちがい通行することが困難な状況である。また、横断歩道もなく、安全確保が充分でない。今後の整備計画は。

A 都市整備調整監 この区間は県により再整備されることになった。具体的には、駅前から南に市道とのT字交差点まで約480mの両側歩道の段差を解消する。植樹帯の縮小や撤去をし、歩道幅を広げ、安全で

学校焼却炉の撤去を

Q 平成9年10月、文部省（当時）から学校施設におけるごみ焼却炉を全廃するよう通達があった。かなり前の年数が経過したが、焼却炉はいまだ放置され、老朽化している。ダイオキシン

による汚染が心配され、早急な撤去が必要だ。今後の計画は。

A 教育長 現在焼却炉は使用していないが、市内の幼稚園、小中学校で12基が残っている。使用しなくなった時点で灰などは撤去してあるが、焼却炉を解体するには専門的な調査と多額

その他の質問

・瑞穂市の面整備は指定管理者制度について

敬老会の助成金は

市民部長 対象者に350円、出席者には千円を上乗せ

Q 75歳以上が対象の敬老会を自治会などが開催した場合に助成する金額は、昨年度が出席者のみ一人当たり800円であった。今年度は、3月定例会で予算を1千万円に増額修正し、対象者一人当たり3千円を助成できるようにした。その後の経過は。

A 市民部長 敬老会を開催された自治会長や参加者の方々からのご意見も充分お聞きして検討した。結果として、75歳以上の対象者は350円を限度に、敬老会の参加者は千円を追加している。



松野藤四郎議員

て助成する。敬老会をお世話したため経費は、昨年の倍額にした。このことは、4月21日に開催された自治会連合会の総会で説明し、ご理解いただけたと思っている。

農業の将来について

Q 農業の10年、15年先を考えた計画はあるか。

A 都市整備部長 市の農業計画では、次のような目標を持っている。
①農業基盤の整備を初め、

農地保全とこれを支える担い手の育成を図る。
②売れる米づくり、米以外の作物による産地づくりによる農業振興を図る。

③農地の利用集積・規模拡大を図り、認定農業者、農業法人や集落営農組合等組織の育成を図る。
④安全・安心な農産物づく

りとブランド化で、地産地消の推進を図る。

その他の質問

・FM放送施設について
・工業団地への上下水道について

穂積駅南の道路整備は

都市整備監 7月にも着工予定、3年計画で整備する

Q JR穂積駅から、みずほバスターミナルまでは歩道幅が狭く、雨降りには傘を差してすれちがい通行することが困難な状況である。また、横断歩道もなく、安全確保が充分でない。今後の整備計画は。

A 都市整備調整監 この区間は県により再整備されることになった。具体的には、駅前から南に市道とのT字交差点まで約480mの両側歩道の段差を解消する。植樹帯の縮小や撤去をし、歩道幅を広げ、安全で

学校焼却炉の撤去を

Q 平成9年10月、文部省（当時）から学校施設におけるごみ焼却炉を全廃するよう通達があった。かなり前の年数が経過したが、焼却炉はいまだ放置され、老朽化している。ダイオキシン

による汚染が心配され、早急な撤去が必要だ。今後の計画は。

A 教育長 現在焼却炉は使用していないが、市内の幼稚園、小中学校で12基が残っている。使用しなくなった時点で灰などは撤去してあるが、焼却炉を解体するには専門的な調査と多額

その他の質問

・瑞穂市の面整備は指定管理者制度について

敬老会の助成金は

市民部長 対象者に350円、出席者には千円を上乗せ

Q 75歳以上が対象の敬老会を自治会などが開催した場合に助成する金額は、昨年度が出席者のみ一人当たり800円であった。今年度は、3月定例会で予算を1千万円に増額修正し、対象者一人当たり3千円を助成できるようにした。その後の経過は。

A 市民部長 敬老会を開催された自治会長や参加者の方々からのご意見も充分お聞きして検討した。結果として、75歳以上の対象者は350円を限度に、敬老会の参加者は千円を追加している。



松野藤四郎議員

て助成する。敬老会をお世話したため経費は、昨年の倍額にした。このことは、4月21日に開催された自治会連合会の総会で説明し、ご理解いただけたと思っている。

農業の将来について

Q 農業の10年、15年先を考えた計画はあるか。

A 都市整備部長 市の農業計画では、次のような目標を持っている。
①農業基盤の整備を初め、

農地保全とこれを支える担い手の育成を図る。
②売れる米づくり、米以外の作物による産地づくりによる農業振興を図る。

③農地の利用集積・規模拡大を図り、認定農業者、農業法人や集落営農組合等組織の育成を図る。
④安全・安心な農産物づく

りとブランド化で、地産地消の推進を図る。

その他の質問

・FM放送施設について
・工業団地への上下水道について

穂積駅南の道路整備は

都市整備監 7月にも着工予定、3年計画で整備する

Q JR穂積駅から、みずほバスターミナルまでは歩道幅が狭く、雨降りには傘を差してすれちがい通行することが困難な状況である。また、横断歩道もなく、安全確保が充分でない。今後の整備計画は。

A 都市整備調整監 この区間は県により再整備されることになった。具体的には、駅前から南に市道とのT字交差点まで約480mの両側歩道の段差を解消する。植樹帯の縮小や撤去をし、歩道幅を広げ、安全で

学校焼却炉の撤去を

Q 平成9年10月、文部省（当時）から学校施設におけるごみ焼却炉を全廃するよう通達があった。かなり前の年数が経過したが、焼却炉はいまだ放置され、老朽化している。ダイオキシン

による汚染が心配され、早急な撤去が必要だ。今後の計画は。

A 教育長 現在焼却炉は使用していないが、市内の幼稚園、小中学校で12基が残っている。使用しなくなった時点で灰などは撤去してあるが、焼却炉を解体するには専門的な調査と多額

その他の質問

・瑞穂市の面整備は指定管理者制度について

敬老会の助成金は

市民部長 対象者に350円、出席者には千円を上乗せ

Q 75歳以上が対象の敬老会を自治会などが開催した場合に助成する金額は、昨年度が出席者のみ一人当たり800円であった。今年度は、3月定例会で予算を1千万円に増額修正し、対象者一人当たり3千円を助成できるようにした。その後の経過は。

A 市民部長 敬老会を開催された自治会長や参加者の方々からのご意見も充分お聞きして検討した。結果として、75歳以上の対象者は350円を限度に、敬老会の参加者は千円を追加している。



松野藤四郎議員

て助成する。敬老会をお世話したため経費は、昨年の倍額にした。このことは、4月21日に開催された自治会連合会の総会で説明し、ご理解いただけたと思っている。

農業の将来について

Q 農業の10年、15年先を考えた計画はあるか。

A 都市整備部長 市の農業計画では、次のような目標を持っている。
①農業基盤の整備を初め、

農地保全とこれを支える担い手の育成を図る。
②売れる米づくり、米以外の作物による産地づくりによる農業振興を図る。

③農地の利用集積・規模拡大を図り、認定農業者、農業法人や集落営農組合等組織の育成を図る。
④安全・安心な農産物づく

りとブランド化で、地産地消の推進を図る。

東海環状自動車道の西回りルートの整備は

引続き重点的に整備される

整備監 市調整 都調

Q 東海環状自動車道の東回りルートが3月19日に開通し、関係地域の交通全体に大きな影響を与えているようである。瑞穂市の発展のためには三重県四日市市から美濃関ジャンクションまでの西回りルートの整備が必要であり、早急に工事着工、開通されることを強く望むが、現在の進捗状況は。

A 都市整備調整監 美濃関ジャンクションから西関インターの長良川を渡る区間は今年度に工事着工する予定と聞いている。大垣西インターから名神高速道路と接続する養老ジャンクション間では、引き続き用地買収を促進するとしている。瑞穂市に關係する大垣西インターから大野神戸インター間は、揖斐川右岸まで昨年度に地元の計画説明会



小川勝範議員

を実施しており、了解が得られれば今年度以降に用地測量を始めた意向であると聞いている。

今後の進め方として、国は、美濃関ジャンクションから西関インターの区間と大垣西インターから養老ジャンクションまでの区間を重点的に整備していくとし、早期に開通効果を上げたいとしている。

大野神戸インターへのアクセス道路整備は

Q 東海環状自動車道西回りルートの大野神戸インターへ瑞穂市からのアクセスする道路、主要地方道岐阜県南大野線の未改良区間について、早急に整備が必要だ。今後の事業見通しは。

A 都市整備調整監 樽見線の立体交差道を整備し、重里交差点まで完了している。そこから西は用地問題もあり、なかなか進捗できない状況となっている。しかし、問題点をよく整理し、今後の進め方については岐阜建設事務所と協議しながら、少しでも前進するよう努力したい。



▲岐阜県南大野線の未改良区間の整備は

Q 3月定例会で、議会は参加者一人当たり3千円の経費を見込んで予算を増額修正したが、市長はこれをどう受け止めているか。

A 市長 基本的な敬老会に対する考え方は、同じだと理解している。しかし、敬老会を実施された自治会には大きな負担をおかけしたので、若干の見直しをした。

敬老会の助成金について

A 市長 基本的な敬老会に対する考え方は、同じだと理解している。しかし、敬老会を実施された自治会には大きな負担をおかけしたので、若干の見直しをした。



▲施設管理公社の事務所がある県南公民館

Q 市が施設管理公社などに委託している公の施設の管理は、法律改正により平成18年9月までに指定管理者制度に移行することになった。3月に設立した、みずほ公共サービス株式会社は指定管理者を視野に入れて設立したのか。

A 市長 この制度に該当する業務をお願いする可能性があるが、制度ができるから会社をつくったのではない。



小寺 徹議員

Q 平成18年9月以降も公社への委託が継続できるか。

A 市長 法的な整合性をチェックしたい。

Q 継続できない場合、公社や公社の職員はどうなるか。

A 市長 処遇をどう考えるかは、今後の課題となる。

ワイティ建設の産業廃棄物集積場用地について

Q 私は12月定例会で、同社が本巣市法林寺に用地を取得する際、市職員が関与した疑いがあると質問した。その後の調査結果は。

A 市長公室長 関与していたことが判明した。しかし、資料が警察に提出されているので、調査結果の公表は差し控えたい。

総合計画策定に市民の意見は

3千世帯にアンケート実施

市長公室長

Q 10年先を見据えた総合計画とマスタープランが現在策定中である。策定にあたり市民の声をどのように吸い上げ、反映するか。

A 市長公室長 市内の3千世帯にアンケート調査を実施した。しかし、回答率は低く、約4割、1180件の回答であった。

Q 議員研修で視察した草津市のように、地域別構成を検討する考えは。

A 市長公室長 市の面積を考えると、広く市全体を見渡した計画をしたい。



熊谷祐子議員

学童保育について

Q 学童保育を民営かつ学校以外の場所で実施するという市長の方針では、場所の確保等に無理がある。なぜ方針変更しないのか。

A 市長 議員は働くお母さん方の子どもたちだけの場所づくりを強く言われるが、私は子どもの家庭環境で区別することなく、一緒に仲よく元氣よく遊んだり勉強する場所をつくること

が、一番大事だと思う。そういう意味で今までやってきている形が失敗だと思っていない。

福祉センターの入浴日は

Q 県南の老人福祉センター入浴日は週4日、総合センターにある種積の福祉センター入浴日は週2日である。週2回の入浴日は近隣市町村でも最低であり、せめて3回に増やす考えはないか。

A 市長 どんなサービスも近くて便利な方がいいに決まっているが、多少ご辛抱いただき、有効に利用したい。

市民部長

Q 4回と2回なので、土日を除く5日間

A 市民部長 4回と2回なので、土日を除く5日間



▲入浴日が週2回の種積福祉センターの浴室(=総合センター2階)

指定管理者制度への移行は

これから検討する

市長

Q 市が施設管理公社などに委託している公の施設の管理は、法律改正により平成18年9月までに指定管理者制度に移行することになった。3月に設立した、みずほ公共サービス株式会社は指定管理者を視野に入れて設立したのか。

A 市長 この制度に該当する業務をお願いする可能性があるが、制度ができるから会社をつくったのではない。

敬老会の助成金について

Q 3月定例会で、議会は参加者一人当たり3千円の経費を見込んで予算を増額修正したが、市長はこれをどう受け止めているか。

A 市長 基本的な敬老会に対する考え方は、同じだと理解している。しかし、敬老会を実施された自治会には大きな負担をおかけしたので、若干の見直しをした。

Q 助成金の交付要綱を策定する担当課にどのような指示を出したか。

A 市長 去年の反省点などを踏まえて見直すよう指示した。ただし、華美に走らないよう条件を付けた。

市民協働は

積極的に推進したい

市長公室長

Q 地方分権にふさわしい自ら決定して遂行していく体制づくり、そして、市民と行政との協働による街づくりがこれからは必要と思われる。そこで、市民による市民のための政策を推進する上で市民の意見を反映する担保制度、いわゆるパブリックコメント制についての考えは。

A 市長公室長 陳情・要望型の住民参加でなく、提案・実行型の参加を幅広くとっていくことは、これからの街づくりに欠かせない重要な要素である。その手法の一つであるパブリックコメント制は、検討・研究の価値がある。

普通財産の見直しについて

Q 市が保有している公有財産のうち有効活用されていない未利用地を公募による競売処分してはどうか。

A 総務部長 手元に資料がないので件数は分からないが、農地もある。

下水道施策について

Q 旧種積町はコミュニティプラント、旧県南町は特定環境保全公共下水道と農業集落排水事業で下水処理をしていた。市となつての基本施策は。

A 水道部長 今まで全市の集合処理を考えていたが、これに単独処理を組み合わせた処理方法を基本に考え



▲旧種積町の排水を処理するアクアパーク別府水処理センター



棚瀬悦宏議員

Q 市民との協働を前面に打ち出してはどうか。

A 市長 会社設立に当たっても、できるだけ市民の多くの方々に行政の仕事を手伝っていただきたいという思いがある。街づくりは市民が協働で参画する思いでなく、主役となって進めていただきたい。

ていきたい。

議案書の事前配付を

市長 開会初日に提出する

Q 二元代表制の趣旨をどう考えるか。

A 総務部長 民意は議会と首長がそれぞれ代表し、議会は住民の意思を代表決定する合議制の機関で、首長は執行機関として事務を管理するトップである。

Q 他の市町村は大半が4日から1週間前に議案を事前に配付している。瑞穂市では旧穂積町時代から事前配付をしていない。その理由は。

A 市長 議案はできるだけ完璧を期したい。(開会初日に提出する)現在の方法でも、根本的な支障はないと判断している。

あれば、日程で配慮していただくようお願いしたい。



山田隆義議員



▲議案書の事前配付を

敬老会祝日について

Q 老人福祉法では、「地方公共団体は、老人週間においてその趣旨にふさわしい行事が実施されるよう奨励しなければならない。」と規定されている。ふさわしい行事を実施するため一人当たり3千円は必要であ

るとして、議会は予算を修正議決した。議会の議決に沿って執行される気があるか。

A 市長 議会の議決は、「お年寄りの方々に充分な感謝の意を表せ」との意向であると思っているので、その趣旨は充分踏まえて執行していく。

Q 実施できなかった自治会の高齢者をどう考えるか。

A 市長 はっきり言って、一番頭の痛い課題だ。現在では具体的な対策はないが、何とか工夫する必要があると思っている。

固定資産税未納分を減給する考えは

市長 理由や根拠が必要

Q 市長は、毎年提出しなければならぬ減免申請書を最初の1回しか提出せずに固定資産税の免除を受けていた問題で、3月定例会では「支払っても良い」と答弁されている。今もその考えに変わりはないか。

A 市長 税務の判断に任せ、支払っても良いという考えに変わりはない。

Q 課税以外の方法でも課税分を実質的に支払う考えがあると理解してよいか。

A 市長 減給するには、それなりに理由や根拠がなければできない。考えさせていたきたい。



西岡一成議員

A 市長 結構です。

Q 未納分に相当する額を減給する条例を市長自ら提出すれば良いではないか。

A 市長 減給するには、それなりに理由や根拠がなければできない。考えさせていたきたい。

敬老会の予算執行は

Q 議会は3月定例会で、敬老会補助金を1千万円に増額修正した。対象者一人当たりすると3千円の計算になるが、対象者に350円と出席者は千円を上乗せして補助する内容で実施する予定と聞く。なぜ議会が議決したとあり、対象者一人当たり3千円で予算を執行しないのか。

A 市長 実際に執行していく段階で、事業の目的や展開方法など基本的な考え



▲昨年開催された敬老会のような(=前所自治会)

方をとらえながら検討している。敬老会の開催の意義や開催の仕方など、議会で議決した敬老会のあり方を充分踏まえて執行している。

堀越紡績跡地購入について

Q 地元住民は給食センター反対の署名を提出している。執行部は説明責任をどう果たしているのか。

A 市長 反対の陳情書は私が直接受け取った。建設計画が具体的になったとき反対理由の一つ一つに対応策を説明させていただくと代表者に話してある。

堀越紡績跡地取得の担当は

市長 助役と政策推進課

Q 撤回された堀越紡績所有の土地取得関連2議案の担当は。

A 市長 堀越紡績との接触窓口は政策推進課が担当で、全体の掌握指揮は助役をお願いしている。

Q 撤回しなければならなくなったのは、市政に大きな汚点を残すことになったと思うがどうか。

A 市長 提出するとき最終的な詰めが甘かったと反省している。

Q 面積で5千㎡、金額で2億円弱の土地が既に売却されていた。この部分も含めて議案として議会に提出するとはどういうことか。

A 助役 実質的には、当初予算のヒアリングが終わる段階くらいに売却されたことをお聞きした。当然減額して提出すべきであ

ったと思う。

Q このようなことは、まさに前代未聞、ずさん、無責任、怠慢であり、言語道断である。県内はもとより全国の市町村でもこのような例はないと思うが、どう思うか。

A 助役 誠に申し訳なく思っている。



堀 孝正議員

Q 厳しい財政事情の中で予算を組んだとあるが、1億数千万円も予算を過大計上している。この失態は誰の責任か。

A 助役 私の責任であると思っている。



▲議案が撤回された堀越紡績株所有の土地

治水事業の推進を

都市整備部長 国・県とともに努力する

Q 市内の宅地化が進み、遊水地としての水田は約40年で半減した。犀川第1、第2排水機場は老朽化しているが、犀川統合排水機場の完成予定は。

A 都市整備部長 平成19年度の運転開始を目標に工事が進められている。

Q 中小河川の改修事業の推進計画は。

A 都市整備部長 長良川河口堰完成後、排水機が犀川20トン、糸貫川8トン、五六川に3トン設置され、天王川に樋門が完成した。現段階での改修計画では、糸貫川、五六川、天王川が完成し、犀川は下犀川橋の改修をしながら拡幅する事業が進められている。また長護寺川は、東南庁舎付近の130mは完成しているが、水生生物等の生息できる河川環境に改修する事業を平成19年度以降に実施できるように県に陳情している。

Q 市が管理する牛牧、花

検討している。穂積分署の車両や人員の配置、訓練場の確保、財産の取り扱いなどが検討されている。

Q 本巢消防へ加入するハードルが高かったら、市単独も考えているか。

A 市長 検討委員会での結論に従って整備したいが、両方を比較検討する必要は



広瀬捨男議員

塚、別府の各排水機場の拡充計画は。

A 市長 根本的なオーバードールや改造も考えなければならぬ。



▲水生生物等の生息できる河川環境に改修したい長護寺川

あると思う。

Q 消防職員を教育し、訓練するには時間がかかる。職員採用の計画は。

A 市長 2年計画で充足したいので、平成18年4月採用に間に合うよう方向づけをしていただきたい。

議員紹介です

父母に学ぶ

広瀬捨男



私が旧制中学3年の時、父が50才の若さで病死しました。父は県庁に勤務した後、地元銀行に転職。しかし、その銀行が数年で倒産...

「人を信用することが大切」など、人生経験が病床の中で話してくれたことが忘れられません。

父が亡くなり悲しみに浸っている時、母は姉と私に言いました。「つらいと思うが、千代子は銀行を退職、捨男は中学を休学して欲しい。しばらく農業を手伝ってくれないか...」

私の心中を察してくれている姉は「弟だけは学校を続けさせてやってくれ！」と母に懇願してくれました。が、結

局は気丈で働き者の母の指導と励ましで、姉と私は不慣れた農業を懸命に頑張ることになりました。当時の農業は手作業で大変でした。

その後しばらくして、農業の将来も厳しいと考え、私は「日本国鉄道（現在のJR東海）に就職したい」と、思い切つて母に打ち明けました。母の了承も得て無事就職。上司の配慮もあり、夜学も卒業できました。その後30数年間勤務。退職後は、父が亡くなつてからお

世話になつた皆様方のお役に立ちたいと考え、微力ながら農業委員、町内会、老人クラブなどの活動をしてまいりました。また、議会でもおかげさまで10年お世話になつております。

新市が発足して2年が経ちますが、市民の皆様が「合併して瑞穂市となつて良かった」と実感できる福祉・教育などの充実した街づくりのために努力してまいります。

市民の皆様方の叱咤激励をお願い致します。

編集後記

◆議員活動を紹介する、定例議会・常任委員会・特別委員会・議員協議会・各委員会協議会・会派勉強会と毎日色々な事を真剣に議論し、なおかつ審議する場として議員各位が切磋琢磨しております。今回の6月定例議会においても土地財産調査特別委員会が設置されました。◆広報編集委員会は本年度も昨年と同じメンバーで頑張ります。これまで以上に読みやすい紙面を目指していきますのでよろしくお祈りします。

(篠田)

健康寿命

山本訓男



5月24日と25日の2日間、牛牧小学校の同窓会旅行で長野県大町温泉に行きました。懐かしい友と会えば皆小学生時代に帰り、昔話に花を咲かせる楽しいひ

とときを過ごすことができました。

小学校2年生で終戦を迎え、一番物のない時代に小学生時代を送りました。当時は今のように排水機が設置されていないので、夏に雨が降ると道路の冠水は常にあり、その中を裸足で通学した思い出があります。通学にも苦勞したのですが、今は排水機も整備され、その心配もありません。還暦も過ぎ、喜寿を迎える年となると、やはり健康のことが関心

事になります。日本人の平均寿命は約80歳ですが、これは寝たきりや認知症の状態で人手を借りながら、どうか生きていく人も含めた数字です。

このほかに健康寿命というものもあります。人の手を借りずに何歳まで健康に生活できるかという年齢です。脳卒中などで倒れても、リハビリで人手を借りずに生活できるようにすれば、健康な状態とされます。

いるのがタバコと高血圧といわれています。タバコをやめ、よく歩くほど高血圧になる可能性は少ないとされています。

心身の老化を早期に発見し、歩くことに心がけ、健康寿命を伸ばしたいものです。行政でも介護予防事業が積極的に取り組まれています。自分自身で健康寿命を伸ばす努力を心がけたいものです。

(安藤)